

社会教育・地域教育の推進

令和7年1月

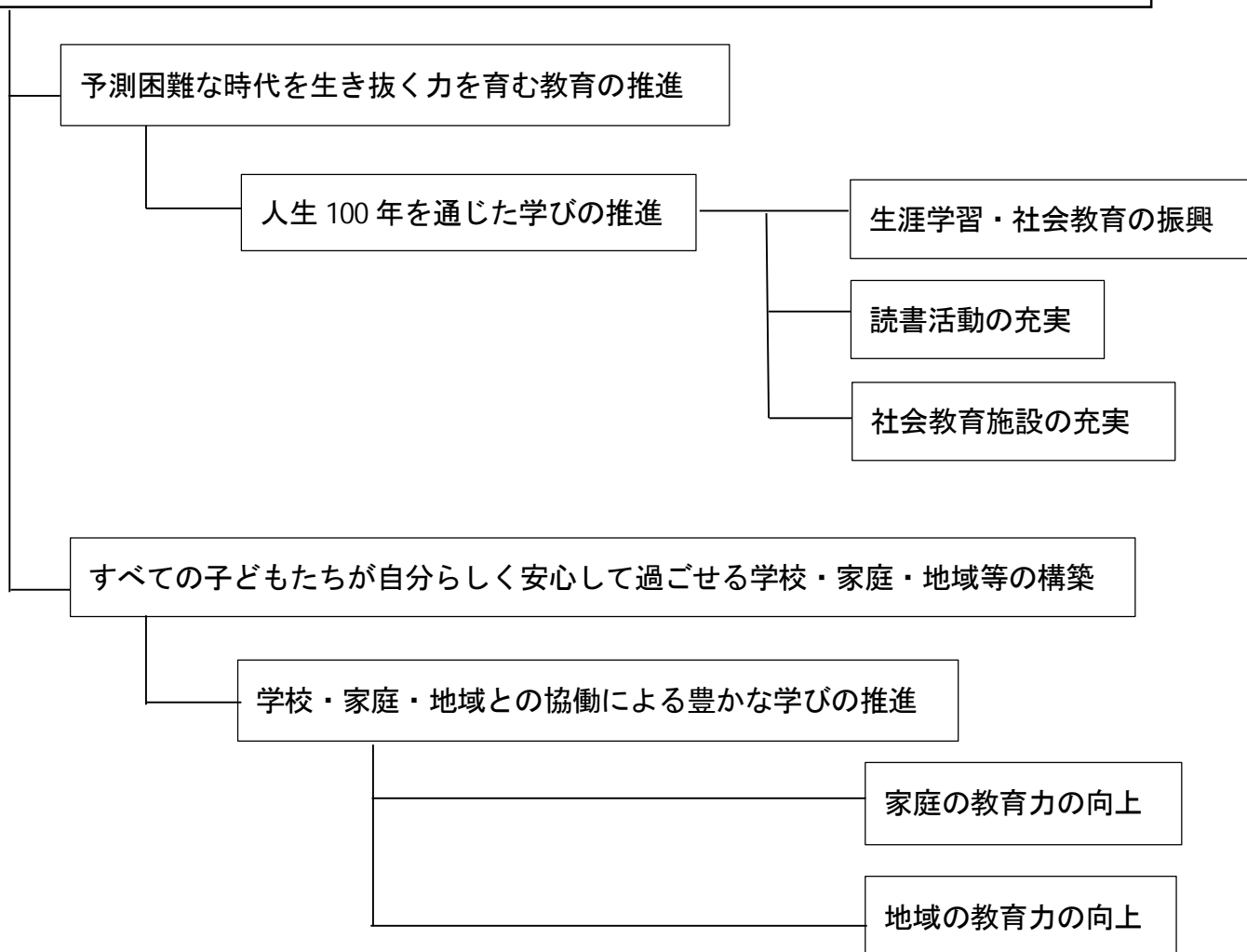
兵庫県教育委員会
社会教育課

目 次

令和6年度 社会教育課施策体系表 -----	3
1 人生100年を通じた学びの推進 -----	4
I 生涯学習・社会教育の振興 -----	4
II 読書活動の充実 -----	9
III 社会教育施設の充実 -----	10
2 学校・家庭・地域との協働による豊かな学びの推進 -----	22
I 家庭の教育力の向上 -----	22
II 地域の教育力の向上 -----	25

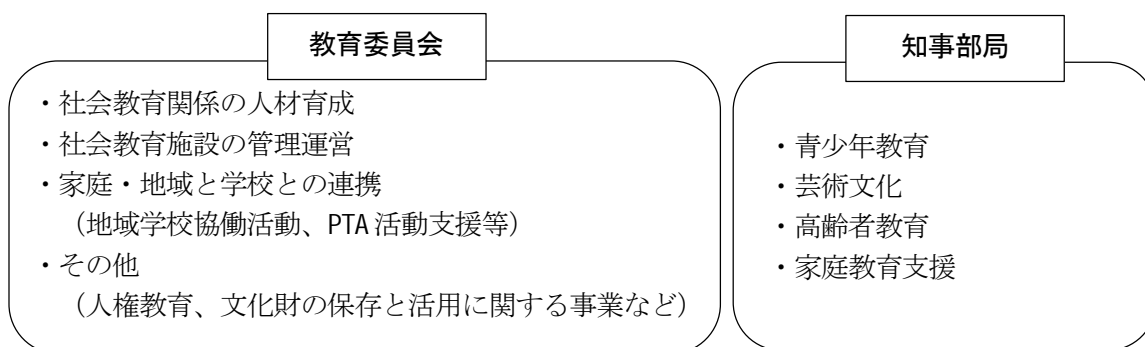
令和6年度 社会教育課施策体系表

兵庫が育む ころ豊かで自立する人づくり
 — 『絆』を深め、『在りたい未来』を創造する力』の育成—



参考：社会教育行政における教育委員会と知事部局の役割分担

教育委員会と知事部局が一体となった生活文化行政を展開するため、教育委員会の権限に属する事務の一部を知事部局に事務委任（地教行法23条）



1 人生100年を通じた学びの推進

I 生涯学習・社会教育の振興

県民一人一人が生涯にわたって主体的に学び続けることができるよう、社会の変化に対応して年齢を問わず必要となる基礎的なスキルの習得のための学習や、自己実現を図る上で必要となる学習等、リスキリングやアップスキリングを目的としたリカレント教育も含めた県民の多様な生涯学習の機会や場の充実を図る。

また、地域住民自身が主体的に学ぶ意思をもち、教え学び合う当事者となり、その学習成果が地域コミュニティづくり、地域課題の解決を図るための活動に還元されるよう、社会教育を支える人材の養成、指導者の資質向上を図るとともに、行政、NPO（非営利団体）、大学、企業等の多様な主体との連携・協働により、地域創生に向けた社会教育の振興を図る。

1 障害者の生涯学習推進事業

10,312千円

(1) 「ひようご障害者の生涯学習」連携コンソーシアム

障害者の生涯学習を支える持続的・総合的なネットワークの構築をめざし、関係機関が連携して研究・協議する会議を開催する。

構成団体：20団体

(大学、特別支援学校、社会福祉法人、民間団体、行政関係者 等)

開催回数：年3回

(令和6年6月19日(水)、9月4日(水)、令和7年1月22日(水))

内 容：ア 調査・実践研究

- ・ミュージアム・インクルージョン・プロジェクト
(障害のある人の博物館等利用促進に関する取組)
- ・自立的な障害者の生涯学習の推進にむけた地域の拠点づくり
- ・学びの場を検索するアプリの開発及び充実
登録件数136件(令和6年11月末現在)

イ 普及啓発

- ・啓発リーフレットの作成
- ・特別支援学校での学び場検索アプリ利用促進

ウ 人材育成

- ・障害者の生涯学習を支援する者を育成する研修会の実施



学び場検索アプリ



啓発リーフレット

(2) 共に学び、生きる共生社会コンファレンス

障害理解の促進や、支援者同士の学び合いによる学びの場の担い手の育成、障害者の学びの場の充実を図るため、学びの場づくりに関する好事例の共有・実践交流、障害者の生涯学習活動に関する研究協議等を行う。

対 象：障害者の学びに関心のある人、学びの支援者・障害者本人、関係者等

期 日：令和6年10月5日（土）

会 場：神戸大学鶴甲第2キャンパス

テ ー マ：障害のある人が、いつでも、どこでも学べる社会をめざして

内 容：当事者による実践発表、意見交流 等

参 加 者：90名



実践発表



意見交流

(3) 身体障害者社会学級

身体障害者に社会人としての幅広い教養や実用的な知識・技能等を習得するとともに、地域住民やボランティアとの交流を通して相互理解を深め、障害者の生涯を通じた多様な学習活動を支援する。

学級名	対 象	学級数・人数	内 容	県内開設地
青い鳥 学級	視覚障害者	6学級 8教室 【275名】	小学校との交流、歴史講座、民謡教室、健康体操 等	6地区
くすの木 学級	聴覚・言語 障害者	6学級 7教室 【172名】	料理教室、小物づくり、ニュースポーツ体験、社会見学 等	6地区
たけのこ 学級	肢体不自由者 ※進行性筋ジストロフィー症者	1学級 【90名】	アレンジフラワー、音楽教室、園芸、パソコン講座 等	独立行政法人 国立病院機構 兵庫中央病院

2 社会教育委員会議の開催

1,033千円

本県における社会教育の振興・充実に資するため、必要な調査研究及び社会教育団体に対する補助金の審議を行う。

委員：15名（学校教育・社会教育・家庭教育関係者、学識経験者 等）

※任期2年

テーマ：県立学校におけるコミュニティ・スクール（CS）の導入に向けて

※令和5～6年度

内容：①全体会議（年間2回開催）

第1回 令和6年8月27日（火）

- ・審議報告の構成について
- ・県立学校におけるコミュニティ・スクール導入の手引きについて

第2回 令和7年2月

- ・令和7年度社会教育・生涯学習関連新規事業について
- ・令和7年度社会教育関係団体に対する補助金について
- ・審議報告についての協議

②専門部会

審議テーマに関する調査・研究、協議を行う

第1部会（年間4回開催）

- ・市町における社会教育の実施状況の調査

第2部会（年間1～2回開催）

- ・審議テーマに関する審議報告の原案作成

第3部会（年間2回開催）

- ・県内における先進事例の収集と調査・研究

（尼崎高等学校、柏原高等学校、氷上特別支援学校を視察）



第1回全体会議
(オンライン併用)



氷上特別支援学校視察
(学校運営協議会)

3 社会教育関係職員等研修

社会教育の振興発展に寄与するため、県内の社会教育関係者が日頃の実践や研究の成果を発表し、情報交換を通して資質能力の向上を図る。

(1) 兵庫県社会教育委員協議会研修会

社会教育の振興・発展を図るため、市町の社会教育委員等を対象に、社会教育の課題や社会教育委員の役割、活動について協議を行う。

ア 兵庫県社会教育委員協議会総会及び研修会

期 日：令和6年6月4日（火）

場 所：兵庫県民会館

内 容・令和6年度の活動目標、活動指針について
・社会教育の仕事と人材について

参 加 者：100名



社会教育研究大会（全体会）

イ 兵庫県社会教育研究大会

期 日：令和6年11月27日（水）

場 所：神戸市教育会館

内 容・全体会

若者の社会教育への参画について

・分科会（実践発表：芦屋市、多可町、香美町）

学校・家庭・地域の協働について

参 加 者：101名



社会教育研究大会（分科会）

ウ 近畿地区社会教育研究大会（京都大会）

期 日：令和6年9月6日（金）

会 場：京都テルサ

エ 全国社会教育研究大会（茨城大会）

期 日：令和6年10月23日（水）～25日（金）

場 所：茨城県水戸生涯学習センター、水戸市民会館

(2) 兵庫県公民館大会

50千円

公民館関係者等が集い、交流することにより、公民館運営のより一層の充実を図るため県大会の開催を支援する。

対 象：公民館職員、公民館運営審議会委員、社会教育委員、公民館関係者、
社会教育・生涯学習行政職員、学校関係者 等

期 日：令和7年1月31日（金）

会 場：兵庫県いなみ野学園

テ ー マ：「自治の土壌を耕す公民館」～人が輝き地域が輝く絆づくり～

内 容：基調講演、実践発表（稲美町、加東市、たつの市）

4 社会教育主事の養成

県内の社会教育の振興を図るため、人づくりや地域づくりにおいて中核的な役割を担うことが期待される社会教育主事の資質能力の向上を図る。

(1) 社会教育主事講習への派遣

社会教育に関する専門的な助言・指導を行う社会教育主事を養成するため、全国の大学及び国立教育政策研究所社会教育実践研究センターで実施される講習に県・市町の行政職員や教職員等の派遣を行う。

実施主体：社会教育主事講習運営委員会

(近畿地区各府県、国立大学、国立教育政策研究所社会教育実践研究センター)

実施内容：講義やグループ演習、宿泊研修等による専門的な知識、技能の修得

実施場所：奈良教育大学、国立教育政策研究所社会教育実践研究センター

受講者数：11名（令和6年11月末現在）

(2) 社会教育主事等研修の実施

社会教育支援者としての資質の向上を図るとともに、社会教育に携わる職員のネットワークを構築するため、県内の社会教育主事等を対象に協議及び情報交換を行う研修会を開催する。

対 象：市町・教育事務所の社会教育主事・社会教育関係職員等

期 日：令和6年9月24日（火）

会 場：兵庫県民会館

内 容：地域の担い手育成に向けた行政と住民の連携について

参 加 者：60名



実践発表



グループ協議

II 読書活動の充実

子どもの読書活動は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであることから、「ひょうご子どもの読書活動推進計画（第5次）」（令和6年3月策定）に基づき、子どもたちに本への関心を高め、読書習慣の定着を図る。

1 地域における読書活動の推進

1,500千円

読書に関わる地域人材等を活用し、子どもの多様な発達段階に応じて地域と学校が協力して不読率の低減等に向けた取組を行うことで、学校・家庭・地域が連携して子どもの読書活動を支援する環境づくりを推進する。

(1) 企画運営委員会の開催

委員：学識経験者、公立図書館関係者、読書ボランティア団体関係者、
学校図書館協議会関係者、教育行政関係者

開催回数：年3回

(令和6年7月31日(水)、10月7日(月)、令和7年1月下旬)

内容・事業のあり方や効果的な実施方法、成果指標の妥当性等の検討
・成果や課題についての検証、分析

(2) 発達段階に応じた不読率低減に向けた調査研究

推進地域：多可町

推進内容・小学生を対象とした、電子書籍読み放題サービスの活用

・小・中学生を対象とした、学校図書館の充実

・町立図書館による団体貸し出し増加に向けた取組

(3) 「ひょうご子ども読書活動推進フォーラム」の開催

本の紹介や、相互に書評する活動である「全国高等学校ビブリオバトル兵庫県大会」と、読書推進活動行政担当者・教職員・図書館職員向け研修会を同時実施し、読書活動の推進を図るとともに、社会全体における読書活動の普及啓発を図る。

日時：令和6年11月24日（日）

会場：甲南大学岡本キャンパス

内容：ア 読書活動推進担当者向け研修会

・先進地域の取組

・トークセッション（SNSを通じた
若者の読書活動の推進）等

イ 全国高等学校ビブリオバトル兵庫県大会2024

・予選出場校34校（県立23、市立4、私立7）

・チャンプ本（優勝）「小説の小説」（神戸国際高等学校2年）

参加者：190名



ビブリオバトル決勝進出者

Ⅲ 社会教育施設の充実

社会教育施設は、人が育ち、つながれる場所として、学習手法や学習領域等における豊富な蓄積と、貴重な教育財産を有し、地域における社会教育、地域の教育力の向上の拠点として重要なものである。

社会教育施設がその役割を果たし、高齢者や障害者、子育て世代、子ども等、県民誰もが、美術館や博物館等の社会教育施設を楽しめ、一層利活用することができるよう社会教育施設の充実を図る。

1 ひょうごっ子ココロンカード（博物館等無料開放）事業 495千円

児童生徒が芸術、文化、歴史に親しむ環境づくりを推進するため、県内の小・中学生を対象に、ココロンカードを配布し、博物館等の無料開放を実施する。

(1) ココロンカードの配布

配布時期 小学校入学時（中学校卒業まで継続使用）

- ・配布枚数 430,000枚（1,177校）

※カード仕様変更のため、全学年に配布



(2) 対象施設数

202施設（令和6年5月現在）

うち、県立施設（15施設）

- | | | |
|-------------|-------------|------------|
| ・美術館 | ・歴史博物館 | ・人と自然の博物館 |
| ・考古博物館 | ・考古博物館加西分館 | ・円山川公苑美術館 |
| ・兵庫陶芸美術館 | ・人と防災未来センター | ・フラワーセンター |
| ・舞子海上プロムナード | ・淡路夢舞台温室 | ・横尾忠則現代美術館 |
| ・兵庫県木の殿堂 | ・但馬牧場公園 | ・兵庫津ミュージアム |

2 ひょうごプレミアム芸術デーの開催（県民生活部・社会教育課・文化財課・体育保健課） 教育委員会計上分 1,400千円

県民の芸術文化に触れる機会を充実するため、県内芸術文化施設を無料開放するひょうごプレミアム芸術デーの取組を県内市町・民間へ拡大するとともに、障害のある方や子育て中の方等にも配慮し、誰もが楽しめる取組を実施する。

期 間：令和6年7月9日（火）～15日（月・祝）【7日間】

対 象：103施設（うち教育委員会所管の県立施設 7施設）

美術館、人と自然の博物館、コウノトリの郷公園、歴史博物館、
考古博物館、考古博物館加西分館（古代鏡展示館）、円山川公苑美術館

内 容・芸術文化施設の無料開放

- ・オープニングイベントの開催（美術館）
- ・ナイトミュージアム（美術館・人と自然の博物館）
- ・障害者や子育て家庭等に配慮した取組の実施
（一時保育、自由に話せる観覧日、触れる展示、手話・要約筆記付き解説会 等）

3 HYOGOミュージアム魅力発信プロジェクトの実施（社会教育課・文化財課）

4,559 千円

2025年大阪・関西万博を契機に、ボランティア大学生等（ヒョーゴ・ミュージアム・サポーターズ）の柔軟で斬新な発想力や多様な発信力を活用し、県立社会教育施設の魅力発信や活性化を図る取組を企画・提案・実施する。

在籍者数：40名（令和6年11月末現在）

※主な在籍校 兵庫県立大学、神戸大学、神戸市立外国語大学、神戸女子大学、武庫川女子大学、関西学院大学、大手前大学、流通科学大学 等

内 容：①サポーターズ全体会議（6回実施）

取材内容や SNS の活用方法等の取組についての検討

②サポーターズ施設訪問（3回実施）

展覧会のレポート、広報担当者や学芸員等への取材

③Instagram や note 等 SNS による魅力発信

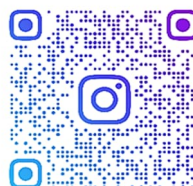
SNS を活用して画像やコラム等による魅力発信

④サポーターズが企画提案した取組を各施設で実施

対 象：美術館、人と自然の博物館、コウノトリの郷公園、歴史博物館、
(県立施設) 考古博物館、考古博物館加西分館（古代鏡展示館）、兵庫陶芸美術館、
横尾忠則現代美術館、兵庫津ミュージアム



サポーターズ全体会議



Instagram QRコード



note QRコード

4 県立美術館—「芸術の館」—の運営

758,830千円

所在地：神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1

設置年度：昭和45年度（県立近代美術館）

平成14年4月開館

設置目的：美術に関する県民の知識及び教養の向上を図るとともに、芸術文化の振興を図る。

利用状況：令和6年度 328,600名（11月末現在）
（令和5年度 526,209名）



※ 王子分館（芸術文化課所管）

- ・原田の森ギャラリー
- ・横尾忠則現代美術館(平成24年11月開館)

(1) 特別展

優れた近・現代美術を中心に、兵庫県にゆかりの深い美術家の作品紹介や、館の研究による新しい視点や価値を示す展示等を行う。（令和6年11月末現在）

展覧会名	開催期間	観覧者数
スーラージュと森田子龍	R6. 3. 16～5. 19 (56日間)	10,971名
描く人、安彦 良和	R6. 6. 8～9. 1 (74日間)	52,272名
石岡瑛子 I (アイ) デザイン	R6. 9. 28～12. 1 (56日間)	14,684名
阪神・淡路大震災30年企画展 1995 ⇄ 2025 30年目のわたしたち	R6. 12. 21～R7. 3. 9 (63日間)	—
パウル・クレー展 創造をめぐる星座	R7. 3. 29～5. 25 (58日間)	—



石岡瑛子 I (アイ) デザイン



1995 ⇄ 2025 30年目のわたしたち

(2) コレクション展

特定のテーマに基づき、他館からの借用も含めつつ、主に館収蔵作品を県民に広く公開することを目的とした展示を行う。
(令和6年11月末現在)

展覧会名	開催期間	観覧者数
2023年コレクション展Ⅲ 【特集】美術の中の物語 【小企画】生誕180年記念 呉昌碩の世界—海上派と西冷名家—	R6. 1. 13～R6. 4. 7	15,384名
コレクション展Ⅰ 白髪一雄生誕百年特別展示 —コレクションからザ・ベリー・ベスト・オブ・白髪一雄—	R6. 4. 25～R6. 7. 28	19,340名
コレクション展Ⅱ わたしのいる場所 — コレクションから「女性」特集！	R6. 8. 20～R6. 12. 8	17,638名
コレクション展Ⅲ 阪神・淡路大震災30年「あれから30年—県美コレクションの半世紀」	R7. 1. 7～R7. 4. 6	—

(3) 2024県展

県内で制作活動に励むアマチュアの作品発表の場、新進美術家の登竜門として公募にて作品を集め展示を行う。

ア 場 所 原田の森ギャラリー

イ 期 間 令和6年8月3日(土)～8月17日(土)

ウ 参加者 2,465名

(4) 様々な芸術との融合事業 (令和6年11月末現在)

事業名	回数	入場者数
ミュージアム・コンサート等	15	1,374名
舞台芸術等	4	233名
シネマサロン等	9	1,537名
その他	1	108名
計	29	3,252名



ミュージアム・コンサート(美術館の調べ)

(5) 館長トーク (令和6年11月末現在)

各界からゲストを招き、美術館の中長期的な課題について一緒に考えるトークセッションシリーズを開催する。

ゲスト名	実施日	参加人数
高見澤清隆氏 (六甲ミーツ・アート総合ディレクター) 原久子氏 (アートプロデューサー)	R6. 4. 20	71名
ミカエル・リュケン氏 (近現代日本美術史研究者)	R6. 5. 18	78名
赤松玉女氏 (画家、京都市立芸術大学学長)	R6. 6. 16	55名
堂本右美氏 (画家)	R6. 7. 7	32名
中野 慎之氏 (文化庁文化財調査官)	R6. 9. 7	50名
小池一子氏、喜多俊之氏 (デザイナー)	R6. 10. 20	150名
北川太郎氏 (彫刻家)、生野賢司氏 (県立人と自然の博物館研究員)	R6. 11. 23	40名
計		476名

(6) 教育・普及活動（令和6年11月末現在）

ア 学校教育との連携

(ア) 学校団体鑑賞

県内外から学校団体を受け入れ、児童・生徒等を対象に常設展においてギャラリートークを行うなど、美術鑑賞教育を通じて児童生徒の感性を豊かに育み芸術文化に対する関心を深める。

実施校数 133校 計 5,959名

(イ) 出前授業

県内の小中学校へ学芸員を講師として派遣し、芸術鑑賞の魅力を学習させるとともに、美術館活動の紹介を行い、児童・生徒に展覧会鑑賞の楽しさを伝える。

実施校数 3校（5回） 計 187名

イ 美術講座

日本画、洋画等の描画指導や美術鑑賞講座を実施

講座数 16講座（1回30名定員） 計 416名

ウ 福祉施設等への出前講座 3回

(7) ネットミュージアム兵庫文学館

ネットを通して県内各地に散在している豊富な文学関係資料等を紹介することによって、いつでも、誰でも、どこでも楽しく学ぶことができる学習資源・機会の提供を行う。

- ・ 常設展示 「作家」「地域」「時代」に分け、兵庫ゆかりの作家や文学を紹介
- ・ 企画展示 兵庫ゆかりの作家の作品概略、時代背景、作家の生い立ちなどを紹介
- ・ 兵庫ゆかりの文学の理解を深める「兵庫文学館検定」を実施

(8) ミュージアムロードによる周辺地域の活性化

平成22年に横尾忠則現代美術館・王子動物園から県立美術館までの道路を「ミュージアムロード」と名付け、地域の内外から多くの人々が自然と集まる魅力あふれる文化ゾーンにする取組を展開する。

- ・ 1 DAY JAZZ ROADの開催（令和6年10月19日（土））

県立美術館ステージにてプロミュージシャンや高校生ビッグバンドによる演奏



5 県立人と自然の博物館の運営

333,146千円

所在地：三田市弥生が丘6

設置年度：平成4年10月開館

設置目的：自然の摂理、生命の尊厳及び人と自然の調和した環境の創造に関する県民の理解を深め、教育、学術及び文化の発展に寄与する。

利用状況：令和6年度 569,680名（11月末現在）
（令和5年度 786,447名）



(1) 企画展示等

（令和6年11月末現在）

展示名	開催期間	入場者数
(企画展) 共存する小さな渡来者たち ～シロツメクサもダンゴムシも海外からやってきた～	R6. 3. 20～R6. 5. 26 【68日間】	36,626名
(企画展) クモ展 ー多様な8本脚たちの世界ー	R6. 7. 2～R7. 1. 13 【196日間】	91,463名
(企画展) 価値の手直し展 ～アップサイクルから見つめるモノと人の豊かな関係～	R7. 2. 15～R7. 5. 31 【106日間】	—

(2) セミナーの開催

自然・環境に関する県民参加型の各種セミナー

（令和6年11月末現在）

名称	内容	回数	延べ参加者数
一般セミナー	多彩な専門的学習プログラム	160	1,619名
オープンセミナー	楽しく参加できる易しいプログラム	645	30,840名
特注セミナー	来館団体の要望に応じて企画するプログラム	160	8,508名
計		965	40,967名

（セミナーの一例）

「摩訶不思議なクモの世界」、「葉っぱぐるぐるをつかってあそぼう!」、「アメンボウが水にうくのナンデナン?」、「ピカピカ泥だんごの作り方」、「南極隊員と鳥博士によるペンギントーク」、「研究員による研究ばなし」、「化石発掘体験セミナー」、「人との関わりからみた三田盆地周辺の地形と地質」、「植物観察会（初夏の武田尾溪谷）」、「五感で楽しむコーヒー焙煎」など



「ちいさな押し花標本をつくってみよう!」
コレクションナリウム ワークルームにて



身近なところで虫さがし
「こんなところに虫がいるの、ナンデナン?」

(3) 移動博物館車「ゆめはく」の運用

人博から遠方の幼稚園や保育園等、特に地方部へ出張し、小学校や環境教育の充実を図るため、展示・学習設備等を備えた移動博物館車「ゆめはく」により、アウトリーチ活動を一層の充実を図る。

ア 回数 38回 (令和6年11月末現在)

イ 参加者 8,729名

ウ 行き先

- ・学校6 (小学校)
- ・幼稚園3、保育園7、認定こども園10
- ・その他社会教育施設13
- ・商業施設(道の駅等)1

※県内 38回、県外 なし

県内：県立図書館、浜甲子園団地、相生市文化会館 等



移動博物館車「ゆめはく」

(4) 地域研究員等の活動支援

セミナー受講者等で、地域の自然環境の研究、学習活動に取り組む個人・グループのうち一定レベルにあるものを「地域研究員」等として認定し、研究発表の場「共生のひろば」の開催、施設の利用など、自主的な研究活動を促進する。

ア 地域研究員 63名

イ 連携活動グループ21 (約417名) (令和6年11月末現在)

(5) 篠山層群化石の活用

- ・地域活性化を目指す人材育成システム構築事業

篠山層群から産出される貴重な化石の割出(クリーニング)作業を促進し、化石資料を有効に活用するための地域人材を安定的に育成していく体制づくりを推進する。

ア 割出作業の促進体制

- ・主任割出技師 1名
- ・化石整理技術指導員 1名
- ・割出技師 5名

イ 市民ボランティアの養成(令和6年11月末現在)

- ・市民化石割出ボランティアの養成研修
登録人数 37名、参加人数のべ1,695名
- ・市民石割調査ボランティアの養成研修
登録人数 176名、参加人数のべ1,538名、調査日数 264日間
- ・化石専門指導員の認定
認定数 28名



化石の割出作業

篠山層群化石について

[経緯]

平成18年に地元愛好家が篠山川河床において発見し、人と自然の博物館において鑑定した結果、前期白亜紀(約1億1000万年前)の恐竜化石であると判明した。

その後、平成19年1月から数度の発掘調査が行われている。

[成果]

大型草食恐竜の「丹波竜」は、ティタノサウルス形類の新属新種であることを人と自然の博物館が平成26年8月12日に論文発表した。「タンバティタニス・アミキティアエ」(丹波の女巨人・友情)と学名(当時、国内5例目)を付けた。

(6) コレクショナルリウムの活用

令和4年10月に開館したコレクションナリウムにおいては、標本・資料の収蔵機能と展示ギャラリーなどを併設した「まちにひらかれた収蔵庫」として、標本を活かした体験プログラムやデジタル画像を利用した展示を行う。

延床面積：1,508.78㎡

- ・展示ギャラリー
- ・コレクションルーム
- ・標本制作室
- ・施設スペース等

入館者数：166,831名

- ・令和4年10月～3月末 28,092名
- ・令和5年度 66,211名
- ・令和6年度（11月末現在） 72,528名



コレクションナリウム外観



本剥製室(鳥類標本)

6 県立コウノトリの郷公園の運営

87,609千円

所在地：【コウノトリの郷公園】豊岡市祥雲寺128

【附属飼育施設保護増殖センター】豊岡市野上1314-1

設置年度：平成11年11月開園(4月一部供用開始)

設置目的：特別天然記念物であるコウノトリを保護し、その種の保存を図るとともに、豊かな自然の中で、コウノトリその他の野生生物と共存できる、人と自然の調和した環境の創造について県民の理解を深め、教育、学術及び文化の発展に寄与する。

利用状況：令和6年度 59,324名(11月末現在)

(令和5年度 77,671名)



飼育下で誕生した雛

コウノトリの保護・増殖と野生化の取組

(1) 野生化に向けた研究

- ア 鳥類及びその生息環境(河川流域・植物生態)
- イ コウノトリと人間社会との関係性
- ウ 繁殖・育雛技術
- エ 衛星追跡システムによる個別追跡調査



育雛の様子(祥雲寺巣塔)

(2) 保護・増殖と野生化の実績(令和6年11月末現在)

ア 飼育個体 96羽(コウノトリの郷公園)

イ 野外個体 463羽

ウ 野外繁殖実績(令和6年)

兵庫県 巣立ち個体数 52			
豊岡市	43羽	朝来市	4羽
淡路市	4羽	稲美町	1羽
<hr/>			
兵庫県外 巣立ち個体数 84			
徳島県鳴門市	4羽 [H29～ 8年連続]	島根県雲南市	6羽 [H30～ 6年連続]
鳥取県八頭町	5羽 [R4～ 3年連続]	鳥取県北栄町	2羽 [R4～ 3年連続]
鳥取県大山町	3羽 [R6 新]	京都府京丹後市	6羽 [H30～ 7年連続]
京都府綾部市	8羽 [R2～ 5年連続]	福井県越前市	7羽 [R2～ 5年連続]
福井県小浜市	4羽 [R3～ 4年連続]	福井県鯖江市	2羽 [R4～ 3年連続]
福井県越前町	2羽 [R6 新]	石川県志賀町	3羽 [R4～ 3年連続]
石川県津幡町	4羽 [R5～ 2年連続]	新潟県上越市	4羽 [R6 新]
栃木県小山市	3羽 [R2～ 5年連続]	茨城県神栖市	6羽 [R5～ 2年連続]
茨城県行方市	4羽 [R5～ 2年連続]	茨城県小美玉市	4羽 [R6 新]
香川県まんのう町	3羽 [R5～ 2年連続]	千葉県野田市	2羽 [R6 新]
広島県世羅町	1羽 [R5～ 2年連続]	佐賀県白石町	1羽 [R5～ 2年連続]

～～ 令和6年のトピックス ～～

1 野外個体数の増加

- (1) 日本全国で463羽に
 巣立ち個体136羽を含め、国内の野外個体数が463羽になった。(令和6年11月末現在)
- (2) 巣立ちヒナ数過去最高
 繁殖地の広がりとともに、野外での巣立ち個体数は、兵庫県内52、県外84、計136
 となり、令和5年の計105を超えて最多となった。

2 繁殖分布の拡大

- (1) 新たに2県4巣で繁殖
 千葉県、新潟県で初めての繁殖があり、全国14府県52巣に広がった。
 新潟県上越市で4羽の幼鳥が巣立ちし、日本海側に広がるコウノトリの繁殖分布域
 の北限が北上した。

(3) 普及活動、環境教育 (令和6年11月末現在)

講座等	回数	延べ参加者数
郷公園体験講座	7	871名
環境学習実践講座	2	20名
ガイドウォーク	28	357名
特別観察会	5	1,120名
学校等への出前講座	14	1,072名
計	56	3,440名



郷公園体験講座(エサやり体験)

(4) コウノトリ野生化対策懇話会

コウノトリの野生化に必要な学術分野(動物生態学、河川生態学、遺伝学、獣医学等)の研究者により協議を行い、本格的野生復帰を推進する。

ア 委員 9名

イ 期日 令和6年12月10日(火)

ウ 内容 令和6年度 今シーズンの繁殖状況
 ブータン王国に生息するシロハラサギ保全活動への協力について
 コウノトリの郷公園の今後の足環装着の方針

7 県立図書館の運営

82,539千円

所在地：明石市明石公園1-27

設置年度：昭和49年10月開館

設置目的：県民の教育と文化の発展を図るため、
図書館資料を収集、整理、保存し、
県民の利用に供するとともに、他の
図書館等との相互協力、調査相談を
行う。

利用状況：令和6年度 79,989名（11月末現在）
（令和5年度 112,994名）



(1) 貸出業務（令和6年11月末現在）

対象	件数
個人	15,892件
公共図書館等	6,845件

(2) 電子書籍サービス（令和6年11月末現在）

蔵書数	閲覧件数
6,418冊	23,447件

電子図書（専門書等）をパソコン、スマートフォン、タブレットから、利用可能
※R5.4からサービス開始 利用には図書館の利用者登録が必要

(3) レファレンスサービス（調査相談）（令和6年11月末現在）

件数	6,395件
----	--------

※利用者等の求めに応じ、図書館所蔵資料や各種情報の提供等通じ、調査・研究の
援助をするサービス

※レファレンスの受付方法：来館による面談、電話、文書、メール

(4) ひょうご図書館情報ネットワークシステム(HAL ネット)（令和6年11月末現在）

区分	件数
ホームページアクセス数	140,347件
蔵書検索数	2,254,683件

※県立図書館の業務全般の管理のほか、館内外の利用者に対してインターネット
等を活用した蔵書情報の公開やそれに付随するサービスを提供

【HAL ネットの機能】

- ア 蔵書情報の管理・検索
- イ 利用者情報の登録・管理（WEBからの利用登録申込みなど）
- ウ 蔵書の貸出・返却・予約
- エ 県内市町立図書館等137館の蔵書を一括して検索
- オ その他、電子書籍へのアクセス窓口の設置、ホームページの運用など

(5) 研修会等 (令和6年11月末現在)

事業名	回数	延べ参加者数
図書館等職員研修	2	54名
一般講座	1	55名
連続講座	5	319名
出前講座	2	54名
計	10	482名



出前講座
(兵庫県いなみ野学園)

(6) 学校等への支援 (令和6年11月末現在)

事業名	回数/校数	参加人数/貸出冊数	内容
学校サポート講座	4回	75名	県立東灘高校、県立三木東高校、 県立神出学園 丹有地区高等学校図書館関係職員
団体貸出	12校	948冊	県立学校等へのセット貸出 ※

※教科や分野ごとのテーマに応じた30冊程度の図書セットを学校に送付し、生徒の調べ学習や教員の教材研究などに活用
(テーマ例)「SDGs」「プラスチック問題」「郷土の歴史」「食の安全」等

(7) 企画展示・図書展示 (令和6年11月末現在)

展示区分	回数	内容
企画展示	4	「貴重な資料と振り返る50年展」「この50年をふりかえて～レコード、写真、プロマイド等～」他
図書展示	12	「阪神甲子園球場100周年」、「ひょうごを巡る50冊」他
連携図書展示	2	「建築を楽しむ～歴史建造物から最新建築まで～」他
親子読書室	1	「第11回KOBELCO森の童話大賞」
ロビー展示	6	「兵庫県立図書館のあゆみ」他
計	25	



学校サポート講座
(県立東灘高等学校)



企画展示
「この50年をふりかえて」

(8) 連携事業

図書館夏祭り

ア 期 日 令和6年8月17日(土)

イ 参加者 1,011人

ウ 連携協力 県立人と自然の博物館・・・移動博物館車「ゆめはく」、昆虫展示等
日本教育公務員弘済会・・・メダカのコタロー劇団による環境学習、
イベントステージ等
県立加古川東高等学校・・・高校生による「かがく絵本」の読み聞かせ

(9) 全国高等学校ビブリオバトル兵庫県大会2024(再掲)

2 学校・家庭・地域との協働による豊かな学びの推進

I 家庭の教育力の向上

家庭は、子どもの教育について第一義的責任を有しており、家庭でのふれあいは、子どもが、基本的な生活習慣や生活能力、人に対する信頼感、豊かな情操、他人に対する思いやり、基本的倫理観、自尊心や自立心、社会的なマナー等を身に付けていく上で、重要な役割を果たしている。家庭同士や学校、地域等の交流や協働を通じて学びを積み重ね、親が親として成長しながら子どもと向き合いつつ、子どもの豊かな成長を支えていけるよう、家庭の教育力の向上を図る。

1 P T Aによる学校、家庭、地域の連携強化事業

2,321千円

家庭の教育力向上を図るとともに、地域による子どもたちの安全安心を守る活動等を展開するため、P T Aを核として、地域住民（C：コミュニティ）の参画と協働によるP T C A活動を支援する。

(1) 各学校における取組

ア 家庭教育支援活動

- ・スマートフォン等によるネット・ゲーム依存やSNSによるトラブルなど、子どもを取り巻く教育課題について地域の関連団体と連携した講演会、学習会
- ・親子のふれ合いや地域住民との交流を目的とした各種イベント

イ 学校教育支援活動

- ・学校行事や校外学習等における地域の人材を活用した教育支援活動
- ・地域ぐるみの教育環境の整備（校区環境美化活動等）

ウ 子どもたちの安全・安心を守る活動

- ・地域ぐるみの子ども声かけ運動
- ・登下校における子どもの安全を守る防犯運動

(2) 地区別研究大会

各校種・地域ごとに優れたP T C A活動の取組内容を普及するための大会を開催

- ・市町立小中義務特別支援学校 8地区（阪神、北播磨、東播磨、中播磨、西播磨、但馬、丹波、淡路）
- ・公立高等学校 3地区（東播磨、西播磨、但馬）
- ・県立特別支援学校 1地区（全県）※オンラインで実施
- ・国公立幼稚園・認定こども園 1地区（全県）

(3) 全県研究大会

教育支援活動に関する好事例の共有や情報交換を行い、学校、家庭、地域の連携強化に向けた啓発を図るためにPTA団体が主催する研究大会の開催を支援する。

ア 市町立小中義務特別支援学校

期 日：令和6年11月16日（土）

会 場：加西市健康福祉会館ラヴィかさい

テ ー マ：共に学び、共に行動し、共に成長していく
～すべてはひょうごの子どもたちのために～

内 容：講演、実践発表（6ブロック）

参加者数：440名

イ 公立高等学校

期 日：令和6年11月30日（土）

会 場：丹波市立春日文化ホール

テ ー マ：PTA活動の活性化と家庭・学校・地域の連携強化
～学校・家庭・地域との協働による豊かな学びの推進～

内 容：講演、実践発表（3校）

参加者数：500名

ウ 県立特別支援学校

期 日：令和6年10月10日（木） ※オンラインで実施

内 容：講演、実践発表（3校）

参加校数：27校

(4) 優良PTAの顕彰（令和6年度優良PTA教育長表彰）

県内のPTAの健全な育成、発展に資するため、学校教育の支援や児童・生徒の健全な育成に取り組み、家庭や地域の教育力の向上に大きく実績をあげている県内の優れたPTAを表彰する。

・表彰団体（11団体：幼1、小中6、高3、特1）

神戸市立兵庫くすのき幼稚園PTA、伊丹市立伊丹小学校PTA、小野市立中番小学校PTA、相生市立中央小学校PTA、養父市立広谷中学校PTA、丹波市立青垣中学校PTA、南あわじ市立神代小学校PTA、兵庫県立夢野台高等学校PTA、兵庫県立伊丹高等学校PTA、兵庫県立柏原高等学校PTA、兵庫県立芦屋特別支援学校PTA

〈主な表彰内容〉

団体名	活動
神戸市立 兵庫くすのき 幼稚園 PTA	未就園児を対象とした子育てサークル「わんぱくサークル」を、月2回程度行っている。総会を书面決議として簡素化するなど、「できる人ができる時にできることを」の方針を大切に、一人一人の負担の軽減に努めている。また、PTA活動をやりたいと思う人が存分に活動できるように環境整備にも積極的に取り組んでいる。
養父市立 広谷小学校 PTA	毎年、地域住民と共同で地区懇談会を開催し、地区内における児童の様子や、夏休みの暮らし方等について意見交換をおこなうなど、地域をあげて児童の安全を守っている。「時流に適応する力を共有しよう」のスローガンのもと、全学年のPTA親子集会の復活、地区水泳の実施を通じて、PTAの「つながり」を深めている。会員に過度な負担がかからないように、活動に対する工夫も重ねている。
丹波市立 青垣中学校 PTA	校区に園・小・中・高が1つずつあるという強みを生かし、青垣小中学校運営協議会、青垣地域子どもを育む協議会などと協力して、地域行事への児童生徒の参加調整、地域防災訓練などに取り組んでいる。お互いが「見える関係」を築き、地域に見守られながら校種を超えて続けられる活動を可能にしている。
兵庫県立 夢野台高等学 校 PTA	地域住民と連携して〈クリーン作戦〉を定期的実施し、地域の景観を美しく保ち、地域の一員として地域とともに歩む学校をめざして活動している。また、学校と連携して講演会を実施し、子育てを通じた親の地域との関わり方等について学ぶ機会をつくっている。本部機能を精選するとともに、委員会を廃止するなど、毎年活動の見直しを実施し、時代に応じたPTAの在り方を模索している。
兵庫県立 芦屋特別支援 学校 PTA	PTAを中心に障害基礎年金の勉強会を実施し、申請書類の書き方や、医師への診断書の依頼について学んでいる。防災セミナーを実施し、家庭における準備、避難の際に想定される課題などを学んでいる。教養部や学年部などの廃止等、時代に合わせた組織改編を行っている。また、定期総会を书面審議にし、SNSを活用して会議を精選するなど、運営上の工夫にも取り組んでいる。

(参考)

令和6年度優良PTA文部科学大臣表彰

県立淡路高等学校PTA、播磨町立播磨西こども園PTA、
神戸市立雲中小学校PTA、神戸市立舞子中学校PTA

II 地域の教育力の向上

地域社会において、子どもたちが多様な学びや交流により豊かに成長していくため、学校と地域の相互の連携・協働のもとに学校づくりと地域づくりを進め、相互に育ち合いながら、地域の教育力の向上を図る。

1 地域と学校の連携・協働体制推進事業 57,671千円

社会教育法に基づき、地域と学校が連携・協働して、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支えていくため、地域学校協働活動を積極的に推進する。

また、「地域とともにある学校づくり」を進める学校運営協議会等との一体的な取組を推進し、地域全体の教育力の向上を図る。

(1) 体制の推進

ア コミュニティ・スクール（学校運営協議会）の設置

学校運営の基本方針の承認、学校運営への意見具申等、保護者や地域住民等が一定の権限と責任を持って学校運営に参画し、それぞれの役割を明確化しながら連携・協働して子どもたちの成長を支える仕組みを構築する。

設置状況（令和6年5月末現在）※市町立小・中・義務教育学校の合計（政令市・中核市を除く）

- ・設置校数：364校（設置率：66.7%）
- ・設置市町数：26市町（設置率：72.2%）

イ 地域学校協働本部（各学校区）の設置

地域住民、団体等の参画により、地域学校協働活動を推進する体制を構築し、地域による学校を支援する活動や地域における学習支援・体験活動等を推進する。

構成：学校、PTA、自治会、地域ボランティア等の関係者

設置状況（令和6年5月末現在）※市町立小・中・義務教育学校の合計（政令市・中核市を除く）

- ・設置校数：480校（設置率：87.9%）

<地域学校協働活動の具体的な活動>

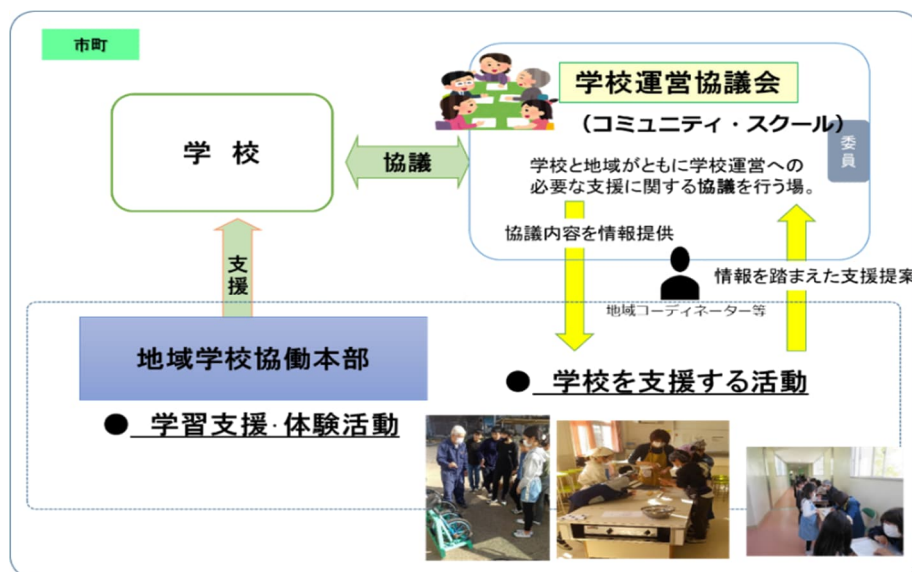
○地域による学校を支援する活動

登下校見守り、放課後・夜間の見守り、休み時間の対応、補導時の対応、校内清掃、給食時の対応、授業の準備等学校以外の主体が学校を支援する活動

○地域における学習支援・体験活動

ふるさと学習や郷土の伝統・文化芸術学習や、宿題のサポート等学習支援（地域未来塾）、学習、スポーツ・文化活動、地域住民との交流（放課後子ども教室）等、地域人材の協力、知見や技能等を活用した活動

<コミュニティ・スクールと地域学校協働本部>



(2) 市町への支援

コミュニティ・スクールの導入を進めるとともに、コミュニティ・スクールと地域学校協働本部が、一体となって取り組む地域学校協働活動の充実を図る。

ア 地域コーディネーター等（統括地域学校協働活動推進員等）の配置

役割：地域学校協働活動等の連携についての調整、学校や学校関係者・地域の団体等との連絡調整等

配置人数：480人（政令市・中核市を除く）

イ 地域連携関係者研修

地域と学校の連携・協働の関係者が、地域と学校の連携・協働に関わる取組の現状と課題、人材の育成・資質向上についての幅広い知識や技能を身につけることにより、学校運営協議会等と地域学校協働活動の一体的な推進を図る。

対象：統括地域コーディネーター等、地域と学校の連携を担う者及びその関係者、行政関係者、学校関係者 等

内容・全県講座

第1回 期 日：令和6年6月27日（木）

場 所：神戸市教育会館

テ ー マ：地域と連携した「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて

内 容：実践発表（岡山市）、講義・演習

参 加 者：124名

第2回 期 日：令和6年12月13日（金）

場 所：神戸市教育会館

テ ー マ：コミュニティ・スクールを活用した、学校や地域の課題解決に向けた取組

内 容：実践発表（養父市、滋賀県）、講義

参 加 者：135名

・地区別講座（県内6地区）

ウ 地域連携アドバイザー・文部科学省CSマイスターの派遣

コミュニティ・スクールの導入や地域学校協働活動についての助言を行う地域連携アドバイザーを市町及び県立学校に派遣し、「地域とともにある学校」づくりの推進を図る。(派遣回数 13回) (令和6年11月末現在)

エ コミュニティ・スクールの導入推進及び活動の充実を図る実践研究

市町に委託して、既存コミュニティ・スクールの発展・拡充及び更なる導入に向けた調査研究を実施する。(委託市町 24市町)

(ア) 導入推進の取組

対 象：コミュニティ・スクール未導入または一部のみ導入済みの市町
内 容：コミュニティ・スクール未導入の学校における個別の課題等について検証し、コミュニティ・スクールの導入に向けた具体的方策を検討

(イ) 活動充実の取組

対 象：コミュニティ・スクール導入済みの市町
内 容：導入済みのコミュニティ・スクールにおいて、地域学校協働活動を活用した「社会に開かれた教育課程」や、学校や教員の課題・ニーズを踏まえた教員の働き方改革に資する活動の実施について具体的な方策を検討

(3) 県立学校での取組（兵庫県版コミュニティ・スクールの実施）

県立学校が推進する特色ある教育を地域が支援する体制を構築するため、学校運営協議会（要項設置）における協議を基に、地域と連携した教育活動を実践する兵庫県版コミュニティ・スクールを実施する。

〈令和6年度試行校40校（高等学校27校、特別支援学校13校）〉

地区	高等学校	特別支援学校
神戸	東灘、須磨東	神戸聴覚、西神戸高等
阪神	尼崎、西宮今津、伊丹西、宝塚	阪神、上野ヶ原
播磨東	明石、明石南、高砂南、多可、 三木北、小野工業（全）、 小野工業（定）、錦城、西脇北	東はりま、いなみ野、北はりま
播磨西	姫路南、神崎、千種、姫路工業、 赤穂（定）、姫路別所、香寺	姫路、姫路しらさぎ、播磨、 西はりま
但馬	浜坂、生野	和田山
丹波	柏原、氷上西	氷上
淡路	淡路	

〈主な活動内容〉

学校名	活動内容
尼崎高等学校	商店街や施設等の地域資源を活用した探究活動
柏原高等学校	コーディネーターによる地域や大学と連携した探究的な学び
赤穂高等学校（定時）	地域におけるボランティア活動及びイベントの企画・運営
氷上特別支援学校	地域の商業施設と連携した販売実習



地域の商業施設と連携した販売実習
（氷上特別支援学校）